



薪火相承

国画陶瓷特別展

10月7日～11日(午前10時30分～午後5時30分)

開幕式・10月7日午後3時から 場所・東京中国文化センター



関宝琮

鲁迅美术学院教授、中国工芸美術大師、中国陶磁器芸術専門委員会委員、中国古陶磁器研究会委員、遼寧省博物館顧問、北京大学賽克勒(Sackler)芸術博物館顧問、遼寧省工芸美術協会副会長。

1956年鲁迅美術学院絵画学科在学中、版画「坑口極節」「奇煤」を創作し、第二回全国美術展に参加。
1960年鲁迅美術学院を卒業と同時に景德鎮陶磁器学院の蔡金台氏、毛龍汲氏を師にもつ。
1961～1980年遼寧省珪酸塩研究所美術研究室の仕事に就く。生活用磁器、また芸術品及び陶磁器彫刻の創作に従事。《中国古代陶磁器の造型と装飾研究》を出版し遼寧省科学技術論文の一等賞を獲得。
1981年遼寧美術出版社から《遼寧芸術》を出版。
1982年日本の美乃美出版社から《遼寧》を出版。
1983年遼寧博物館にて《関宝琮作品個

展》を開催。
1984年《遼寧の新ジャンル開発》が中国軽工業部の重大科学技術成果賞を受賞。
1985年台湾芸術出版社から《民間青花瓷(染付磁器)》(個人秘蔵品)を出版
1991年作品《春》、《回顧》、《龍の子孫》、《旋》が91国際陶芸シンポジウムに入選。
1992年中日国交正常化20周年に際して日本の陶芸家佐藤走波氏と遼寧省博物館にて《中日陶芸展》を開催。
1993年中国工芸美術大師の称号を中国政府より授かる
1994年シンガポール、マレーシアで中国画と陶芸の作品展を開催。韓国國光大学で催された国際陶芸シンポジウムに参加。
1997年シンガポールで《関宝琮陶磁器芸術展》を開催。
1999年遼寧画報社から《中国民間青花瓷》を出版。
2001年寧波で国画個展を開催。
2002年台湾高雄美雅土画廊で国画と陶磁器作品個展を開催。
2002年遼寧画報社から《遼代陶磁》を出版。
2003年中国陶磁器芸術大師の称号を授かる。同年、中国工芸美術大審議委員会委員の名誉を授与される。
2004年大連で国画個展を開催。
2005年浙江省龍泉市で国画作品個展を開催。
2008年陶磁器作品「三魚」が国家博物館に収蔵される。
2011年浙江省で歴代紫砂名家紫砂收藏個展を開催。アメリカにて中国絵画個展を開催。
2012年カナダ・トロントにて中国絵画個展を開催。



中国国家観光局駐日代表処、東京中国文化センター、新華社日本総局は中国文化観光ウィーク第4弾として「薪火相承」(国画陶瓷特別展)を共同主催する。
鲁迅美术学院教授で中国陶磁器芸術大師でもある、芸術家・関宝琮氏をはじめとする中国芸術家・画家3名による作品を10月7日から11日まで無料展示する。
また同期間中、主に日本の旅行会社を対象とした無料講演会も実施する。10月8日には、中国大使館領事部と中国国家観光局による「中国新観光関連法規について」を予定。10月11日には青島市駐日本事務所による「青島世界園芸博覧会の概要と紹介」を行う。

中国文化観光ウィーク第4弾 「薪火相承」～国画陶瓷特別展

中国国家観光局駐日代表処、東京中国文化センター、新華社日本総局は中国文化観光ウィーク第4弾として「薪火相承」～国画陶瓷特別展」を共同主催する。

鲁迅美术学院教授で中国陶磁器芸術大師でもある、芸術家・関宝琮氏をはじめとする中国芸術家・画家3名による、「国画陶瓷特別展」を開催する。

薪火相承～国画陶瓷特別展

【展示期間】10月7日(月)～11日(金) 午前10時30分～午後5時30分
初日午後3時から、最終日午後5時まで
【開幕式】10月7日(月) 午後3時～、絵画実演披露あり
【場所】東京中国文化センター 1F 展示ホール
(東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル)
【申し込み】中国国家観光局宛(参加無料)
FAX 03-3591-6886 / E-mail: cnta.tokyo@gmail.com まで

関宝琮

鲁迅美术学院教授、中国工芸美術大師、中国陶磁器芸術大師、中国美術家協会陶磁器芸術専門委員会委員、中国古陶磁器研究会委員、遼寧省博物館顧問、北京大学賽克勒(Sackler)芸術博物館顧問、遼寧省工芸美術協会副会長。

路桂筠

1940年生まれ。遼寧省美術家協会会員、工筆画家。

関涛

1968年生まれ。瀋陽理工大学芸術設計学院副院長、教授、中国陶磁器設定芸術大師、遼寧省工芸美術工業協会理事、遼寧省美術家協会会員。



関涛

1968年生まれ、瀋陽理工大学芸術設計学院副院長、教授、中国陶磁器設計芸術大師。
1990年中央民族学院美術学科国画専攻、学士号を取得。遼寧省工芸美術工業協会理事、遼寧省美術家協会会員。
1994年陶磁器技法を学び始め、これに前後して江西省の景德鎮、安徽省の祁門、江蘇省の宜興など陶磁器の生産地域で伝統的な陶磁器技法を学ぶ。同時期に鲁迅美术学院と天一庄で個展を開く。
2000年陶芸作品が清華大学2000年国際陶磁器交流展に入選し、収蔵されることになる。
2001年陶芸作品《紅山》が中国美術家協会第一回全国陶磁器芸術とデ

ザイン展覧会に入選し、優秀賞を受賞。
2002年陶芸作品が中国陶磁工業協会第七回全国陶磁器芸術デザイン革新評定展に入選し、優秀賞を受賞。
2003年陶芸作品《縦横》が中国美術家協会第二回全国陶磁器芸術展に入選し銅賞を受賞。
2005年陶芸作品《無猜》が中国美術館の陶芸招待展に入選。
2006年陶芸作品《節》が中国美術家協会第五回中国現代青年陶芸家作品双年展に入選。
2008年陶芸作品《円缺》が中国美術家協会第六回中国現代青年陶芸家作品双年展に入選。
2010年陶芸作品《簞》が中国美術家協会第七回中国現代青年陶芸家作品双年展に入選。
2010年陶芸作品《紅山》が2010年アジア現代陶芸新世代交流展に入選。
2011年中国陶磁器設計芸術大師の称号を授与される。
2011年陶芸作品《皿》が2011年アジア現代陶芸新世代交流展に入選。
2012年陶芸作品《祭》が第八回中国現代青年陶芸家作品双年展に入選。



路桂筠

1940年生まれ、遼寧省美術家協会会員・工筆画家

1957年鲁迅美术学院附属高等学校卒業

1960年鲁迅美术学院中国画学部に入學

1965年瀋陽市工芸美術公司に入社、工芸品の設計、国画創作等の仕事に携わる

1977年瀋陽市工芸美術研究所にて新製品設計及び製作に携わる

1995年専業画家として国画創作と陶芸創作に携わる

2008年3月欧州にて国画作品と陶磁器の展示会を開催

2011年5月アメリカケンタッキー大学孔子学院で行われた国画展に参加



2012年8月カナダで行われた国画展覧会に参加

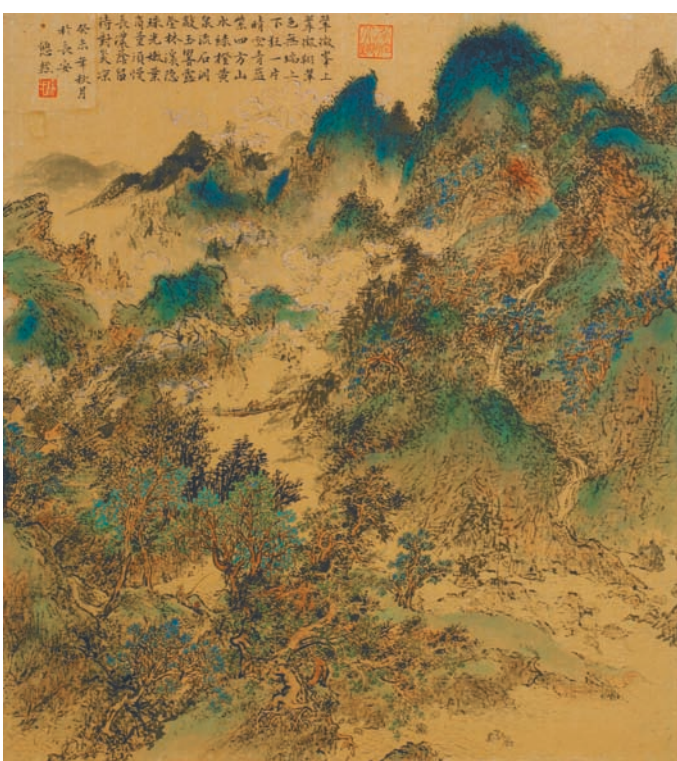


中国文化観光ウィーク第4弾 中国・新観光関連法規講演及び 青島世界園芸博覧会

2013年10月1日から、中国初の「観光法」が施行され、増大する旅行者の権利保護や、観光業務の公平な競争についての規定が明確にされた。これにより、今後の観光市場の安定とさらなる発展、中国と世界の観光交流の円滑化が期待されている。また、7月に新たに開始された「中華人民共和国出境入境管理法」の施行など、中国観光業界にとって13年は大きな変換期を迎える年となる。
新観光関連法規の概要に加え、14年4月から青島市で開催される「世界園芸博覧会」の内容や最新受け入れ態勢状況なども紹介する。
中国・新観光関連法規講演
10月8日(火)
テーマ＝「中国・新観光関連法規について」
講演者＝中国大使館領事部(予定)・中国国家観光局
時 間＝午後4～5時/交流会 午後5～6時
10月11日(金)
テーマ＝「青島世界園芸博覧会の概要と紹介」
講演者＝青島市駐日本事務所より
時 間＝午後4～5時/交流会 午後5～6時

中国文化観光ウィーク第3弾 澄懷觀道～中国国画十人連展

9月30日(月)～10月4日(金)
午前10時30分～午後5時30分
(初日は午後3時から、最終日は午後5時まで)
国会一級美術師、中国美術家協会会員である劉奇偉教授をはじめとする中国八つの大学から10人の教授が来日、優秀作品の展示を行う。
【訪日画家所属】
陝西省書画芸術研究院、中国陝西師範大学、河南大学、西安美术学院、咸陽師範大学、西北工業大学、西安文理学院、西安工業大学美术学院、
【場 所】
東京中国文化センター 1F 展示ホール
(東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル)
【開幕式】
9月30日(月)午後3時～。絵画実演披露あり。
【講演会・開幕式申し込み】
中国国家観光局宛 (参加無料)
FAX: 03-3591-6886
E-mail: cnta.tokyo@gmail.com まで



画境文心－屈健・梅青の中国花鳥山水画展

名門国立美術学院で中国画を学んだ後、文学博士として芸術史と芸術理論の研究を続ける屈健氏。「学者型の画家」と称される屈健氏の数多くの作品には、他の画家にはない高い「芸術修養性」があふれ、高い評価を得ている。一方、妻の梅青氏は繊細かつ巧みな陰影を用いた山水画家として定評がある。2人の作品を通じ、中国山水画の魅力に迫る。
日 時：10月17日(木)～23日(水) 午前10時30分～午後6時30分
場 所：ホテル椿山荘東京アートギャラリー(文京区関口2-10-8)
TEL: 03(3943)1111(代表)



屈 健
1970年陝西省生まれ。西安美術大学卒業後、南京芸術学院で文学博士号を取得。現在は西北大学芸術学院院长、教授。中国美術家協会会員、陝西省美術家協会理事・副秘書長、陝西省連合国教科文組織協会文化芸術委員会副主席、陝西省青年書画家協会常務理事、陝西省美術博物館學術委員。中国最大の総合美術展である第8回・第11回全国美術展など、全国トップレベルの美術展に多数出展。



梅 青
屈健氏の妻。西安美术学院中国画学科卒業、西北大学中国書画研究センターに勤務する傍ら、西安市重点中学美術学科の教師も務める。陝西省美術家協会会員、小中学美術教材選定委員会審査員。

